

まごころ

江東区議会議員

鬼頭 たつや



江東区政REPORT 2016年新春号 vol.1



街の御用聞きの報告書

発行 維新・民主・無所属クラブ

〒135-8383 江東区東陽4-11-28 電話 03(3647)9111

2016年 新春を迎え

「安全なまち、安心なまち・江東」の実現に

「街の御用聞き」は区内全域を駆け巡ります

皆さんの声を力に、そして行動へ・・・行動力No.1!!

世界に誇れる江東区の実現に努めてまいります



平成27年の議会活動

平成27年第3回定例会 開催

9月15日に開会され、10月21日までの会期37日間で開催されました。今回の定例会では、決算審査特別委員会が設置され、平成26年度一般会計歳入歳出決算等について審議し賛成多数で認定しました。

決算審査特別委員会では、産業経済費と土木費で質問をしました。

- 産業経済費 ①商店街連合会支援事業について
 ②江東ブランド推進事業について
- 土木費 ①道路維持管理事業について
 ②防犯灯維持管理助成事業について
 ③公衆便所維持管理事業について

平成27年第4回定例会 開催

11月25日に開会され、12月14日までの会期20日間で開催されました。鬼頭たつやは、「維民ク」を代表して質問を行いました。

(質問の要旨は、2面をご覧ください)

二期目もオリンピック・パラリンピック推進特別委員会 副委員長に!

2020年東京オリンピック競技会場が決定・・・江東区は8競技8会場円滑な開催に向けて国や東京都との連携を積極的に推進するとともに、大会開催後の本区のまちづくりに全力で取り組んでまいります。



鬼頭たつやのプロフィール

昭和28年10月15日生まれ

日本大学経済学部卒業

数矢小学校元PTA会長

平成23年

江東区議会議員初当選

平成27年

区議会議員選挙2期目当選

<連絡先>



皆様のご意見をお聞かせ下さい

〒135-0047

江東区富岡1-8-13

Tel 090(4951)4540

Fax 03(3642)9658

TOKYO 2020
オリンピック・パラリンピックを
成功させよう!

平成27年第4回定例会本会議での質問・答弁（概要）

I 防災対策の推進について

①平成26年度は「防災都市江東」の総仕上げで、防災施策全般にわたり様々な対策が図られた。特に区民の生命を守る防災倉庫の整備では、適地がない中での取組みを評価している。今後も、東日本大震災後の教訓や新たな被害想定を計画する上で、防災倉庫の必要性を再認識することが必要なことから防災倉庫整備に対する区の考えを質問しました。

②本区は人口50万人を突破したが、こうした人口増にも対応した備蓄物資が確保されているのか。また、8月に完成した江東区中央防災倉庫における備蓄物資の状況で、区の報告では備蓄物資は32,000人分とあるが、中央防災倉庫の機能から、32,000人分で十分と考えているのか、基本的な備蓄物資に対する区の認識を質問しました。

③本年9月に甚大な被害をもたらした「平成27年9月関東・東北豪雨」は、鬼怒川の堤防を決壊させ周辺に住む多くの住民に多大なる影響を与えた。これまで本区では、年1回消防合同訓練を実施しているが今回の鬼怒川決壊の状況を踏まえ、本区として職員による水防訓練の必要性を強く訴え、訓練実施に向けた区の見解を質問しました。



総務部長

①今年度豊洲シビックセンター内及び江東区中央防災倉庫の整備により区内倉庫は23箇所となった。整備にあたり分散備蓄が基本であり大規模災害時に食料や水の提供は拠点避難所が中心となることから、拠点避難所からのアクセスも十分に考慮して効果的な配備に努める。

②東京都の被害想定が引き上がり区内における避難所生活者数は、約13万8千人から約15万2千人に増加したが、平成24年度に区と都の役割分担において区が備える備蓄物資の追加配備を完了している。また、人口増加の対応であるが増加が著しい南部地区に防災倉庫と備蓄倉庫の整備が終了し、現在の人口に対応した物資は確保されている。

③本区では、これまでの度重なる浸水被害の経験を踏まえ所轄消防署や消防団の協力のもと、土木部職員を始め町会や自治会も参加した合同水防訓練を毎年実施している。提案の職員による水防訓練につきましては今後の検討課題にする。しかし、関東・東北豪雨では連絡調整なども課題となり、こうした課題と共に検討する。



II 安全・安心なまちづくりの取り組みについて

①教育委員会では、平成26年度より小学校通学路に防犯カメラの設置を開始し、まちの安全対策にも寄与する方向で、通学路の安全対策にも取り組んでいる。初年度ではモデル的に3校設置し、今年度は11校に設置するが設置に対する目的、更に平成30年度までに小学校全てに設置と聞いているが、改めて今後の整備計画を質問しました。

②不審者情報を防災無線で提供する動きが拡大している。本区における防災無線の活用は、災害情報や国民保護に関することであるが、緊急事態を区民に伝達するため防災無線の活用は有効的な伝達手段であると認識している。活用にあたり難しい問題もあるが区民の生命・財産を守るために、積極的な活用を行うべきと区の見解を質問しました。

③住民に深刻な影響を及ぼす空き家対策を推進するため、本年5月に「空き家対策特別措置法」が施行された。今後も空き家が増加することが予想されており、特措法施行後における自治体の取組みに、関心が寄せられている。特措法が施行され短い期間であるが区の対応に一定の改善が図れたのか、法整備後の対応について質問しました。

総務部長

①小学校と地域が連携して行う登下校時見守り活動を補完し通学路における児童の安全確保を強化する目的で整備を進めている。今後の整備計画であるが、今年度は11校に設置して次年度以降は12校以上の予算化を考えているが、地元町会等の動向も十分に考慮し、前倒し措置についても積極的に取り組んでいく考えである。

②本区では、不審者情報は警察の情報を基に「こうとう安全安心メール」での配信を実施している。防災行政無線放送による不審者情報の提供は情報発信時に一定の基準がある自然災害と異なり、事件が発生する前の段階であることから放送する情報内容や放送エリアの選定など警察とも連携した判断が求められる慎重に検討する必要がある。

③本区における空き家の倒壊・防犯・防災・衛生対策は、現在各所管で適切に対応しているが、今後特別措置法を活用すべき新たな行政課題が発生した場合には、すぐに対応できるよう関係所管において研究を行っている。地域住民からの情報提供や業務上把握した空き家に対しては本区のパトロールカーでの巡回を強化して対応に努める。

III 障害者スポーツの振興について

①2020年東京オリンピック・パラリンピック開催に向けて、自治体における障害者スポーツ振興が動き出している。障害者スポーツの普及は、障害者の自立や社会参加に繋がるが、施設設備に莫大な費用を要することから、いろいろな課題もあると認識している。こうした現状を踏まえ、障害者スポーツに対する方向性への認識を質問しました。

②本区では、障害者スポーツの普及促進・更にパラリンピックムーブメントの推進を図ることを目的に、カヌー競技に江東区出身の選手を2名輩出して積極的に取り組んでいる。今回、8月イタリア・ミラノで開催された世界大会で好成績を収め区民に感動を与えたことから、カヌー競技以外でのスポーツでパラリンピアンを輩出する考えを質問しました。

③舩添都知事は「パラリンピックが成功して初めて2020年東京大会が成功である。」と話しており、『障害者スポーツ課』を新設するなど、障害者スポーツは身近なスポーツへの転換が図られていると認識している。このように身近なスポーツへと展開される中で、指導員の養成は喫緊の課題であり指導員養成に対する区の取組み姿勢を質問しました。

山崎区長

①こうとう子どもスポーツデーにおいて、子ども達に障害者スポーツの体験会やパラリンピアンとの触れあう機会を提供するとともに、スポーツ施設改修計画に合わせて施設のバリアフリーを図るなど、障害者スポーツの普及・促進に取り組んでいる。また、本年3月に策定したスポーツ推進計画でも、重点事業と位置づけ今後も一層の充実を図る。

②本区では、昨年パラリンピック競技の正式種目であるゴールボールの国際大会開催に協力することにより、区内の子どもたちが国際大会を見学する機会を提供して、2020年パラリンピック大会に向けた普及啓発活動に取り組んでいる。引き続きカヌー競技以外のパラリンピック競技についても関係団体と連携して有力選手の発掘・育成を図る。

③障害者スポーツを普及促進する上で、障害者の特性に応じた専門的な指導ができる人材の養成・確保は急務であると認識しており、スポーツ推進計画においても指導員の発掘・育成を掲げている。今後も東京都障害者スポーツ協会やスポーツ推進委員会などの関係機関と連携して指導者の発掘・育成に向けて積極的に取り組む考えである。

詳しい内容は、区議会ホームページをご覧ください。

アドレス・<https://www.city.koto.lg.jp/ac/gikai/>

東京オリンピック競技会場決定!!

全区市町村で最多 **8競技8会場**

